

民主主義をつくるお金

ソーシャル・ジャスティス基金の挑戦

ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)とは、社会の一般的な考えや今の政策・制度では見逃されがちな社会的課題の解 決に取り組む団体を、「社会的公正」の視点から助成する市民ファンドです。とくに市民による「政策提言活動」にしぼって 助成し、助成先が取り組む社会課題を広く共有するために「アドボカシーカフェ」という対話の場を一緒につくるという2 つの柱があります。この小さなファンドの助成金から、将来性のある成果が生まれ始めました。

そんなSJF を俎上にのせて、社会を変えることに役立っているのか評価することを通じて、私たちの社会の将来を考えて みませんか。『社会を変えるには』という著作の中で「参加型・対話型の民主主義」を提唱されている小熊英二さんをお迎 えし、評価の視点・論点を提起いただきます。そして、SJF を活用して民主主義を実践してきた方々の考えを教えていただ きながら、みなさんと一緒に考えていきます。ひとりひとりの想いや希望が生かされる社会をどのようにつくっていけばよ いのでしょうか。社会を変える一歩は対話から。ぜひご参加ください。

小能 英二さん ■ゲスト:

1962 年東京生まれ。東京大学農学部卒。出版社勤務を経て、東京大学総合文化研究 科博士課程修了。現在、慶應義塾大学総合政策学部教授。学術博士。

著書に『単一民族神話の起源』(サントリー学芸賞社会・風俗部門)、

『〈民主〉と〈愛国〉』(毎日出版文化賞、大佛次郎論壇賞)、『社会を変えるには』 (2013年新書大賞)、『生きて帰ってきた男――ある日本兵の戦争と戦後』など。



■コメンテータ: 上村 英明

NGO 市民外交センターの代表として、先住民族の人権問題に取り組み、グローバルな市民の連帯に長年携わって きた。また、SJF 運営委員長として、平和、人権、エネルギー、教育など多くの分野で新たに現れている 21 世紀の 課題を解決するため、市民による民主主義実現のための政策や制度づくりを支援している。恵泉女学園大学教授。

■コーディネータ: 西川 正さん

2005 年 NPO 法人ハンズオン埼玉を設立。 埼玉県内 100 カ所 1 万人以上の親子が参加する 「おとうさんのヤキイモ タイム」キャンペーン、東北福島から埼玉の避難者に向けた月刊誌『福玉便り』(4000部)を創刊・編集するなど、行政・ 企業を巻き込んだ市民参加型のまちづくりのプロデュースに関わる一方、会議や研修などのファシリテータとして活動。

■日時: 11月4日(水) 18:30~21:00 (開場 18:00)

■会場:文京シビックセンター 4階 シルバーホール

東京都文京区春日1-16-21 (丸ノ内線・後楽園駅1分、三田線/大江戸線・春日駅1分)

■参加費: 一般 1,000 円/学生 500 円 当日受付にてお支払ください。

■主催: ソーシャル・ジャスティス基金(SJF)

Tel 03-5941-7948、Fax 03-3200-9250、ホームページ http://socialjustice.jp/

東京都新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 501 認定 NPO 法人まちぽっと



■お申込みページ: https://socialjustice.jp/20151104.html